

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成21年6月25日(2009.6.25)

【公開番号】特開2006-284591(P2006-284591A)

【公開日】平成18年10月19日(2006.10.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-041

【出願番号】特願2006-103085(P2006-103085)

【国際特許分類】

G 0 1 R 35/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 R 35/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月3日(2009.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電気回路であって、

前記電気回路の現在の環境損失特性による変化に影響される特定の特性群を有する出力信号を生成する回路と、

前記電気回路の前記現在の環境損失特性を測定する手段と、

前記測定する手段により少なくとも部分的に制御され、前記特定の特性群を前記電気回路の前記現在の環境損失特性とは無関係に維持するための手段と、  
を具備する電気回路。

【請求項 2】

前記回路が基板上に含まれており、前記測定する手段が、前記基板上に作られた経路を通じて信号を搬送する手段を備えている、請求項 1 に記載の回路。

【請求項 3】

前記測定する手段が、出力信号をもたらすように作られたテスト経路を通じて信号を搬送する手段を備え、前記出力信号は、前記電気回路の前記現在の環境損失特性の特徴を表す、請求項 1 または 2 に記載の回路。

【請求項 4】

前記維持するための手段が、測定用受信器の精度を向上させるために環境変化に補正を加える、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の回路。

【請求項 5】

前記維持するための手段が、電力計の精度を向上させるために環境変化に補正を加える、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の回路。

【請求項 6】

前記維持するための手段が、測定テストシステムの精度を向上させるために環境変化に補正を加え、前記システムは、信号発生器、測定用受信器、電力計からの少なくとも 1 つの信号を備えている、請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の回路。

【請求項 7】

テストシステムであって、

信号発生器と、

信号測定用受信器と、

前記信号発生器及び前記信号測定用受信器の現在の環境損失特性を測定するための回路と、

前記測定するための回路に応答して前記信号測定用受信器又は前記信号発生器のいずれか一方、又は前記信号測定用受信器及び前記信号発生器の両方を調節することにより前記電気回路の前記現在の環境損失特性を考慮する回路と、  
を具備するテストシステム。

【請求項 8】

前記測定するための回路が、前記信号発生器及び前記信号測定用受信器の前記現在の環境損失特性の特徴を表す出力信号を生じるように作られた少なくとも 1 つのテスト回路を通じて信号を搬送する回路を含んでいる、請求項 7 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記信号発生器が第 1 の基板上に含まれ、前記信号測定用受信器が第 2 の基板に含まれ、  
前記信号発生器の前記現在の環境損失特性を測定する回路が、前記第 1 の基板上に作られたテスト回路を少なくとも部分的に備えており、

前記信号測定用受信器の前記現在の環境損失特性を測定する回路が、前記第 2 の基板上に作られたテスト回路を少なくとも部分的に備えている、請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記調節することにより考慮する回路が、前記信号測定用受信器又は前記信号発生器のいずれか一方、又は前記信号測定用受信器及び前記信号発生器の両方の精度を向上させるために環境変化に補正を加える、請求項 7 ないし 9 のいずれかに記載のシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】電気回路及びテストシステム